

「愛されるために、そして愛するために」

ヨハネの手紙第一3章16節



今日は「君は愛されるために生まれた」という歌をいっしょに歌います。

「愛されるために生まれた」と聞くと、次のように思う人もいるかもしれません。「それはあまたの人間をつくることではないか?」「大切なのは愛されることではなく、愛することではないか?」たしかに私たちは愛するために神によって生かされたのです。しかし私たちは、愛されることなく愛することはできません。だれでも人は無条件で愛されて真の平安を経験し、無条件で自分を捧げ愛して真の喜びを経験することができます。

① 私たちは愛されるために存在している

“キリストは私たちのために、ご自分のいのちを捨ててくださいました。それによって私たちに愛が分かったのです。…” ヨハネの手紙第一3:16

② 私たちは愛されて、愛する者となる

“キリストは私たちのために、ご自分のいのちを捨ててくださいました。それによって私たちに愛が分かったのです。ですから、私たちも兄弟のために、いのちを捨てるべきです。”

ヨハネの手紙第一3:16

“ですから、わたしはあなたに言います。この人は多くの罪を赦されています。彼女は多く愛したのですから。赦されることの少ない者は、愛することも少ないのです。” 勝7:47

“愛する者たち。私たちは互いに愛し合いましょう。愛は神から出ているのです。…私たちが神を愛したのではなく、神が私たちを愛し、私たちの罪のために、宥めのささげ物としての御子を遣わされました。ここに愛があるのです。愛する者たち。神がこれほどまでに私たちを愛してくださったのなら、私たちもまた、互いに愛し合うべきです。”

ヨハネの手紙第一3:16

③ 私たちは愛されるために、そして愛するために存在している

“わたしはあなたがたに新しい戒めを与えます。互いに愛し合いなさい。わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。” ヨハネ13:34